

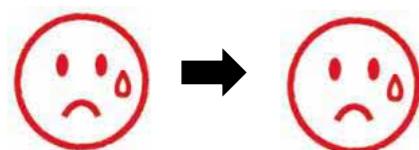
建設業

回答率：100% (25/25)



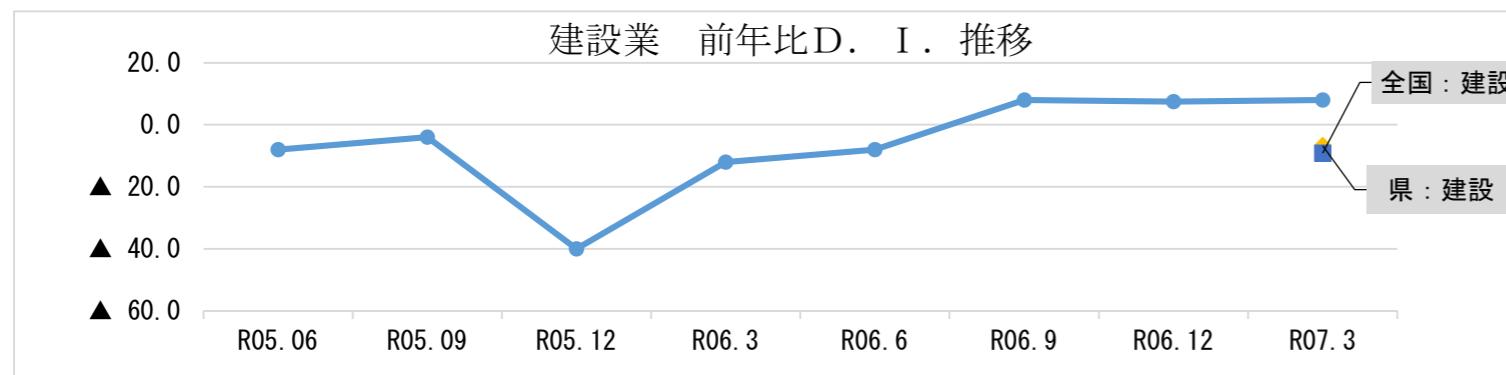
今期

見通し



■丹波市の景況推移

DI上はほぼ横ばいで推移しているが、物価高騰の影響も続いている。利益確保が厳しい状況が続いている。職人不足が継続課題であり、業況の回復へは時間を要する見通しである。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

公共工事の件数が減少している。特に兵庫県発注工事件数が減少し、これに伴う測量業務の発注件数も減少している。年度末工期の工事があり、入金が出納閉鎖前になる予定だが持ち出しが多く資金繰りが厳しい。

【丹波市の来期の景況予想】

新築物件が大幅に減少しており、関係業者に影響が出ている。資材価格の高騰も続いているため、民間需要も少なくなっている。現場での職人不足も解消されておらず、業況の回復見込みも厳しい状況が続くと見込まれる。

■全国の景気動向

資金繰りDIがわずかに低下、売上額・採算DIはわずかに低下し、業況DIは変わらずであった。物価高騰の影響は価格転嫁で対応しているが、仕入単価が高騰しているため、支払いと入金サイクルのギャップにより資金繰りが悪化している。価格転嫁が進むもの人手不足により業況の回復へは、まだまだ時間を要しそうである。

■県下の景気動向

土木建設関連では材料費・燃料費の高騰により採算が悪化している。公共工事も減少している。売上DI・収益DIともに減少しており景気の悪化の状況が続いている。来期もすべてにおいて悪化する見通しである。

■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	0	0	2	0	1	5	20.0%
不变	1	12	0	2	2	1	18	72.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	0	1	0	1	0	2	8.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

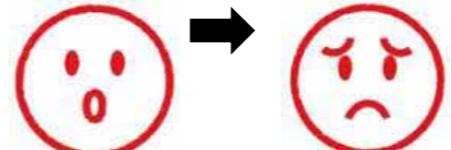
製造業

回答率：100% (25/25)

2025年1月～3月期調査

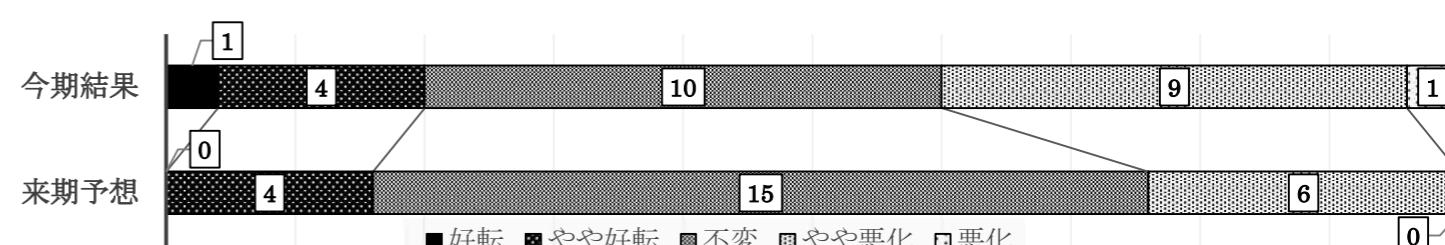
今期

見通し



■丹波市の景況推移

やや悪化が続き、依然として慎重な見方が強い。物価や人件費の上昇、売上・受注の鈍化が影響し、DI値はマイナス圏が継続。回復には時間を要する見通し。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

製造業を中心とした受注は全体的に好調。一方で人手不足が深刻化しており、残業や外国人研修生への依存で対応している状況。物価高騰や原材料費の上昇も利益圧迫要因となっている。廃業を検討する事業者も見られる。

【丹波市の来期の景況予想】

受注は引き続き安定が見込まれるが、人手不足や原材料価格の上昇、加工賃の据え置きなど、コスト面の課題が事業継続の障壁となる見通し。業種間で明暗が分かれる傾向は今後も続くと予想される。

■全国の景気動向

業況DIは▲16.6で前月より悪化。製造業は価格転嫁の限界、非製造業は人手不足や賃上げ圧力が課題。回復への見通しは不透明で、中小企業の景況感は総じて弱い。

■県下の景気動向

県内も業況DIはマイナス圏。機械・金属系製造業の採算悪化、小売業の買い控え、サービス業の人手不足と人件費上昇が続いている。慎重な見方が広がっている。

■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	3	1	0	2	1	7	28.0%
不变	1	4	1	2	0	2	10	40.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	2	3	1	1	0	8	32.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業



回答率：100% (25/25)

今期

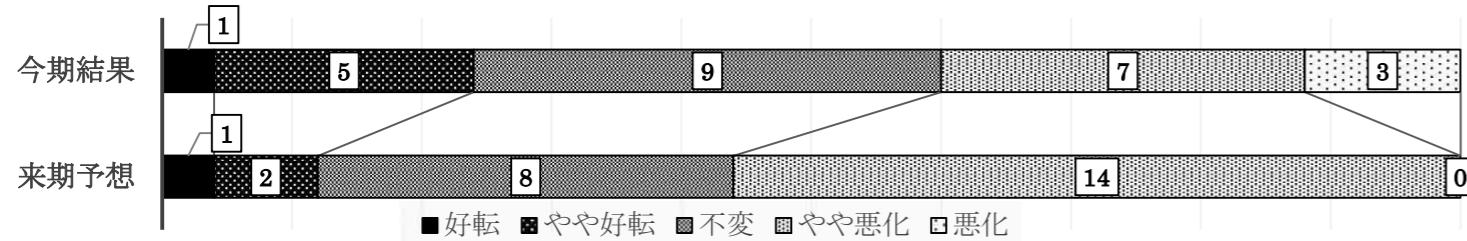
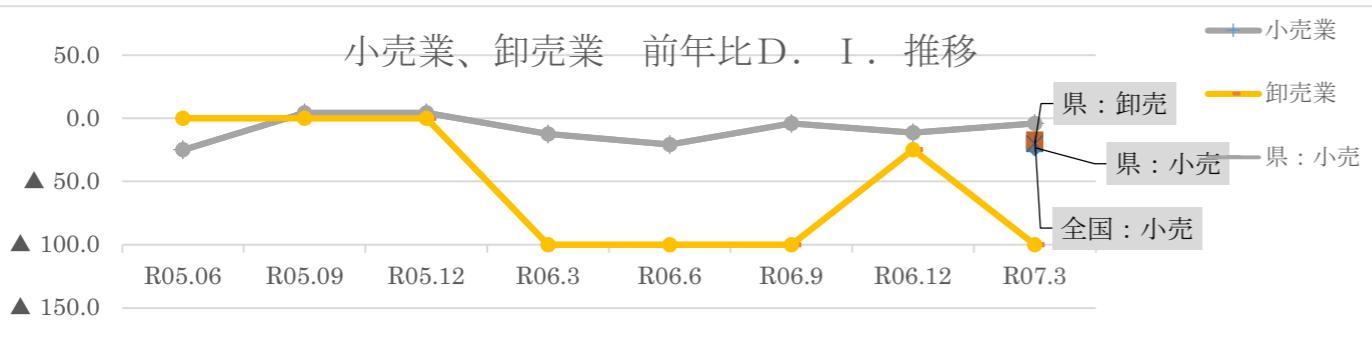


見通し



■丹波市の景況推移

物価高騰の影響を受け、各業種で仕入れや燃料費の負担が増加。価格転嫁が難しく、収益確保に苦慮している。小売業では売上低迷や客単価減が顕著である。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

物価高騰の影響が広く及んでおり、小売・卸売業では材料費や光熱費、燃料費の上昇により収益を圧迫されている。価格転嫁が難しく、特に婦人服や飲食料品では売上低迷や客単価の減少が続く。めがね小売業や菓子製造業でも仕入価格の高騰により利益確保が困難となっている。

【丹波市の来期の景況予想】

賃上げや、夏のボーナス支給の増加などが個人消費を下支えし、景況感の緩やかな改善が期待される。一方で、依然として物価高の影響が続き、食品や燃料など生活必需品の価格上昇が家計を圧迫。加えて、輸出環境の不透明感が景気の下押し要因となる可能性がある。

■全国の景気動向

新生活の準備や季節の変わり目による需要や、4月以降に値上げされる商品への駆け込み需要により業況は改善を見せた。しかし仕入価格上昇に伴う価格転嫁が進む業種もあるなかで、節約志向による買い控えが懸念され、移動販売やオンライン対応といった消費ニーズの変化への対応が求められている。

■県下の景気動向

小売業では、消費者の節約志向が強まり、特に食品や衣料品の販売が低迷している。物価高騰により仕入れコストが増加する中、価格転嫁が難しく、利益率の低下が懸念されている。また、燃料価格の上昇が物流コストを押し上げ、経営を圧迫している。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	3	0	1	0	1	5	20.0%
不变	2	5	0	2	1	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	4	1	0	2	2	0	9	36.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100% (25/25)

2025年1月～3月期調査

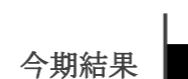
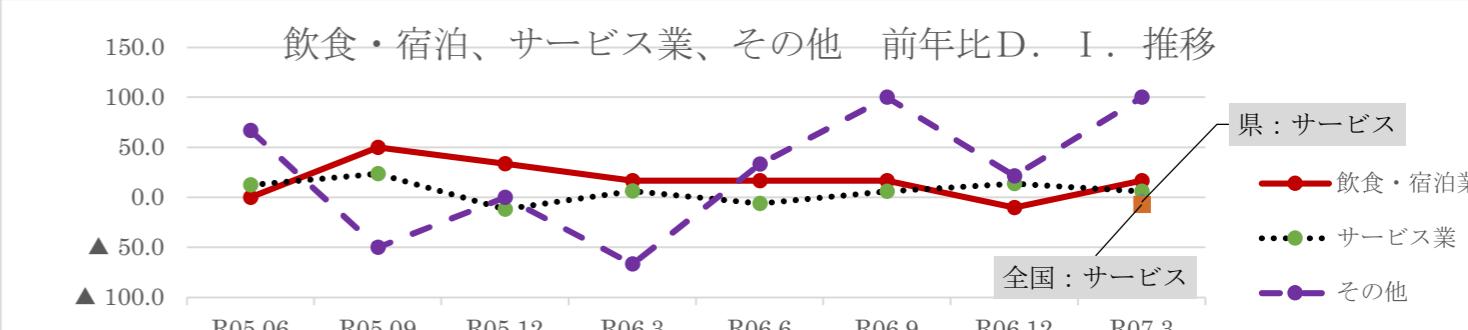
今期

見通し

■丹波市の景況推移

丹波市では個人客による観光・宿泊需要が徐々に回復しているものの、団体利用やイベント需要は戻りが鈍い。春以降も人の流れはやや増えると見込まれるが、物価高や最低賃金の上昇、人手不足が続き、小規模事業者を中心に厳しい経営環境が続いている。

■丹波市の景気動向



【丹波市の今期の景況】

丹波市では個人客の来訪が中心で、宿泊や観光関連の需要はゆるやかに回復傾向。一方、団体利用やイベント需要は依然として限定的で、売上回復には時間を要している。原材料費や光熱費の上昇に加え、最低賃金の引き上げも負担となっており、特に小規模事業者では人手不足とコスト増が重なり、収益確保が難しい状況が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

春の観光シーズンで人の流れはやや増加見込みだが、消費は引き続き慎重。宿泊・飲食業では予約の回復傾向も見られるが、人手不足が足かせに。物価高や最低賃金の上昇は今後も続くと見られ、小規模事業者の経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられる。

■全国の景気動向

観光地ではインバウンド需要が堅調で宿泊業は好調。運送業では燃料費や人件費増加、人手不足が続き、厳しい状況。飲食業や生活関連サービスでは物価高によるコスト増に対し、価格転嫁が難しく収益は圧迫されている。業種・地域により回復のばらつきが大きく、全体としては依然として厳しい状況。

■県下の景気動向

年明け以降も神戸や姫路、城崎温泉などの観光地を中心にインバウンド需要は引き続き堅調。旧正月を契機にアジア圏からの訪日客が増加し、宿泊・飲食施設ともに売上が伸びた。一方で、都市部以外では消費者の節約志向が続き、客足が戻りきらない地域もある。物価高によるコスト負担が継続するなか、客単価はやや上昇しているものの、業種や地域によって回復の実感には差があり、全体としては緩やかな持ち直しの段階にある。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	2	1	3	1	0	7	28.0%
不变	2	4	1	1	2	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	2	2	0	0	0	7	28.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%